

2023年6月5日

全日本物流改善事例大会2023 ポスターセッションへの選出について 3K職場からNEW-3Kへ。イノベーションは現場でも起こせる！ ～持続可能なケーブル分線業務に向けて～

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ（代表取締役社長：中江康二、本社：東京都中央区、以下「NTTロジスコ」）は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（以下「JILS」）が主催する全日本物流改善事例大会2023（2023年5月16・17日 開催）において、同、名古屋物流センター（愛知県丹羽郡）が「ポスターセッション事例」に選出されたことをお知らせ致します。

1. 改善事例

（1）テーマ

3K職場からNEW-3Kへ。イノベーションは現場でも起こせる！
～ 持続可能なケーブル分線業務に向けて ～

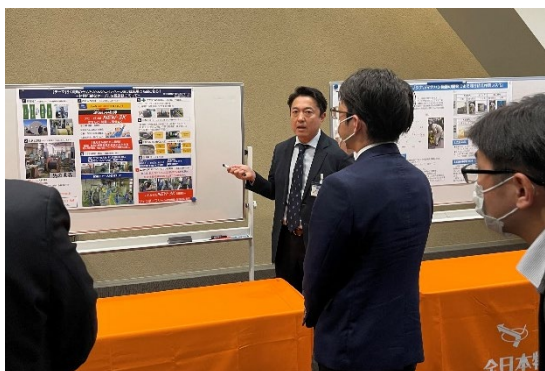
（2）取組みの概要

ケーブル分線業務は従来、高度で職人的なスキルが求められる職場であり、新規採用者が業務を習熟するまでに多くの時間を要していました。また、力を必要とする作業や高所への物の配置など、体格や体力によっては働きづらい環境になっており、離職率の高さが課題でした。

今回の取組みでは、動画マニュアルを導入し社員教育の平準化を図った他、倉庫内の5Sを徹底、電動カッターの導入等により、体力の多寡や体格によらず誰もが働きやすい作業環境への改善を図りました。その結果、作業者の定着率が向上し、性別や経験問わず、様々な方にとって働きやすい職場になりました。

『3K（きつい、汚い、危険）』から『NEW-3K（きちんと、綺麗に、気分よく）』へ

NTTロジスコは、経営ビジョンである「私たちは、お客様の物流を進化させ続け、お客様と社会に美しく透明な流れをつくる会社です」の実現に向けて、引き続き改善活動に積極的に取り組んでまいります。



○ ケーブル分線業務のご紹介

- ・ お取扱い物品 : 通信ケーブル、電力ケーブル
- ・ 作業工程

ピッキング

ケーブルを分線機にセット

分線機でケーブルを巻取り・切断

出荷

○ 業務改善への取り組み



問題点

従業員の定着率が低い

- ベテラン従業員の高度で職人的なスキルに頼った現場運営
- 力を必要とする作業(硬いケーブルの切断等)、高所への物の配置など、人を選ぶ作業環境



対策

誰もが働きやすく、働き甲斐のある職場へ

- 5S 活動の徹底
- 教育の標準化(動画マニュアルの導入、荷扱い講習、危険個所安全手順講習)
- 環境整備(電動カッターの導入、空調整備)

3K きつくて、汚くて、危険な職場

NEW-3K きちんと、綺麗に、気分よく

